

信濃町の埋蔵文化財

杉久保遺跡・野尻一里塚ほか

# 信濃町遺跡調査の概要

2008

長野県信濃町教育委員会

杉久保遺跡・野尻一里塚ほか  
信濃町遺跡調査の概要

2008

長野県信濃町教育委員会

# 例 言

1. 本書は、信濃町において平成2年より平成10年まで実施した埋蔵文化財発掘調査のうち、報告書作成の予算措置がされていなかった遺跡調査の概要報告書である。
2. 発掘調査は、信濃町教育委員会が主体者となり、業務を実施した。
3. 本書で扱った遺跡調査は、中村由克が調査担当となって実施したものである。
4. 調査によって得られた諸資料は、野尻湖ナウマンゾウ博物館で保管している。
5. 各遺跡の記載項目は、以下のとおりである。  
①所在地、②時代、③調査日程、④調査主体者、⑤発掘担当者、⑥調査原因（事業名）、⑦調査面積、⑧遺構、⑨主な出土品、⑩所見、特記事項、⑪その他の説明

# 目 次

A 杉久保遺跡・公衆トイレ緊急発掘の概要	1
B 調査概要	2
1 杉久保遺跡	2
2 大道下遺跡	2
3 長水遺跡	2
4 一里塚遺跡	2
5 丸谷地遺跡	3
6 大道下遺跡	3
7 毛無遺跡	3
8 神山C遺跡	4
9 高山遺跡	4
10 長山遺跡	4
11 上ノ原遺跡（第3次）	4
12 西岡A遺跡	5
13 針ノ木遺跡	5
14 野尻一里塚	5
図1 発掘調査位置図	6
図2・3 杉久保遺跡	7
図4 野尻一里塚	8
図5・6 野尻一里塚	9
C 写真図版	10

# A 杉久保遺跡・公衆トイレ緊急発掘の概要

杉久保遺跡は、野尻湖の北岸の冬期に干上がる湖底から湖畔に位置する。東北日本の日本海側に分布する「杉久保文化」の標式遺跡とされており、1962（昭和37）年～1965（昭和40）年に野尻湖発掘と平行して発掘調査がおこなわた。1966（昭和41）年には町営駐車場が建設され、遺跡中心部は消滅したと思われる。

1990（平成2）年8月21日～8月31日、町営駐車場と町道野尻苔川線の間の水田にトイレができるうことになり、信濃町教育委員会が発掘をおこなった。調査には、新潟大、東海大、千葉大などの学生有志が参加した。35cmの耕作土の下、黒褐色砂疊層、灰褐色砂層より、53点の遺物が出土した。旧石器時代の彫器、石刃、石斧、縄文草創期の有茎尖頭器などがあったが、ほとんどが2次的に運ばれたもので、本来の包含層は確認できなかつた。このほか、中世の珠洲焼や近世の染付、銭貨などが出土した。

この調査では、旧石器時代について十分な資料が得られなかつたが、その後の長い期間にわたつて、杉久保には人類活動の痕跡が流れ込んでいることが判明した。

## （杉久保遺跡の地層と年代）

杉久保遺跡は、野尻湖底にあり、水成の野尻湖層の中に包含層がある。AⅢ群、AⅡ群が含まれる砂疊層、AⅠ群が含まれていたとされる青灰色粘土層は、上部野尻湖層Ⅲに相当し、さらに下位の砂疊層中にヌカ-I火山灰（始良Tn火山灰：AT）がはまれる。これらの地層の情報から、杉久保AⅠ石器群は、較正年代で約22～1.6万年前のものと推定される。

## （「A pre-I群文化」の真偽）

いわゆる礪器とされた大形の安山岩製の資料は、調査当時、「前期旧石器」との関連で、注目を集めていた。これらの資料の出土層は、上部野尻湖層Ⅱ（ATの包含層）に対比され、後期旧石器時代の地層であることか

ら、周辺地域の出土遺物からもこれらの「礪器」を支持するデータは得られていない。このように地層、形態からみても「古い石器」とは認められない。

## （最初の発掘 1962-1965）

野尻湖発掘と平行して、信州ローム研究会のメンバーが中心の考古班は、杉久保遺跡の発掘を実施した。第1次と第2次調査では、2×2mを基本に52区画が発掘された。その結果、杉久保型ナイフ形石器と神山型彫器を主体とする「杉久保AⅠ群石器」、その上位に小型化、特殊化したナイフ形石器と局部磨製石斧の「AⅡ群石器」、そして切り出し形ナイフを中心とする「AⅢ群石器」が確認された。4年間にわたる発掘調査で、杉久保遺跡はナイフ形石器文化の中でも、いくつかの時間差をもつ段階があることが明らかになった。

## （町営駐車場の緊急発掘 1966）

1966（昭和41）年4月、杉久保遺跡の中心地が埋め立てられ、駐車場となる計画が明らかになり、4月23・24日、および5月3・4日に緊急発掘がおこなわれた。すでに埋め立てておこなわれた所は放棄し、残っていた部分の発掘で、最大で長さ21.6cmの大形石刃や多数の彫器が出土し、杉久保系文化はバラエティーに富んだ彫器をもつことが特徴であることが明らかとなつた。また、下位層からは「A pre I群石器」とされた「礪器」が出土し、話題となつた。この工事によって、杉久保遺跡中心部は失われた。

【中村由克2004「杉久保遺跡出土の石器・資料図録」野尻湖ナウマンゾウ博物館より引用、地層の年代については修正】

## （調査参加者）

菅沼直、杉野森淳子、土橋由理子、三ツ井朋子、渡辺哲也、荒川隆史、石川智紀、利波匡裕、永原恵美子〔新潟大学〕、井関文明、中村明央、山本千秋〔東海大学〕、小笠原水隆〔千葉大学〕、近藤洋一、中村由克、信濃町の発掘作業員の皆さん

## B 調査の概要

### 1 杉久保遺跡

- ①長野県上水内郡信濃町大字野尻字舟場37-1ほか
- ②旧石器、縄文、中世
- ③平成2年8月21日～8月31日
- ④信濃町教育委員会
- ⑤中村由克
- ⑥公衆トイレ建設
- ⑦115m<sup>2</sup>
- ⑧なし

- ⑨彫器、クサビ形石器、石斧（旧石器）、有茎尖頭器（縄文草創期）、縄文土器（早期）、珠洲焼（中世）
- ⑩遺物の出土は少なかったが、出土層位・出土状況を確認し、この地点の遺物は流れ込んだものであることが判明した。
- ⑪発掘地は、杉久保A遺跡の中心部と推定される町営駐車場より北の内陸側にあたる地点である。杉久保遺跡の地質層位について、調査することができた。

### 2 大道下遺跡

- ①長野県上水内郡信濃町大字穂波字大道上1962-1ほか
- ②旧石器、縄文、平安
- ③平成2年4月26日～5月3日
- ④信濃町教育委員会
- ⑤中村由克
- ⑥資材置場建設
- ⑦240m<sup>2</sup>
- ⑧配石1（旧石器）、集石2（縄文）、豊穴住居址1（平安）
- ⑨石核、スクレイパー、製片（旧石器）、土器、磨石

- （縄文）、須恵器（平安）
- ⑩旧石器時代の野尻湖遺跡群の最南端の確認ができた。平安時代の住居址は、町内では比較的古い段階に属すると思われる。
- ⑪国道18号線に隣接する大道下遺跡は、平成元年第1次（町道）、2年第2次（本調査）、3年第3次（農地表土入替）、8年第4次（埋め立て事業の試掘）と開発事業が相次ぎ、緊急調査が実施された。第4次の調査報告の中に、遺跡の分布についてまとめている。

### 3 長水遺跡

- ①長野県上水内郡信濃町大字柏原字長水4820番地2ほか
- ②縄文
- ③平成2年8月14日～8月15日
- ④信濃町教育委員会
- ⑤中村由克
- ⑥リポート開発

- ⑦240m<sup>2</sup>
- ⑧なし
- ⑨縄文土器、剥片（縄文）
- ⑩開発計画のある地域の遺跡分布調査。踏査により、縄文早期の押型土器、前期の土器など21点が採集されたので、縄文時代遺跡の存在が確認された。

### 4 一里塚遺跡

- ①長野県上水内郡信濃町大字古間字一里塚ほか

- ②縄文、平安

- ③平成2年9月4日～10月18日
- ④信濃町教育委員会
- ⑤中村由克
- ⑥町道古間町中村線
- ⑦700m<sup>2</sup>
- ⑧堅穴住居址3（平安）
- ⑨縄文土器（早期）、土師器、須恵器、黑色土器、鉄製

品、鉄滓（平安）  
⑩縄文時代の地層中より、集石状の縄集中がみられた  
が、人為的遺構であるかどうか未確認。  
⑪信濃町では住居址が複数あつた状態の確認例は、平  
安時代でもあまり多くなく、3軒確認されたことは特筆  
される。また、鉄製品、鉄滓が存在したことから、この  
住居址では小鋳冶がおこなわれていた可能性がある。

## 5 丸谷地遺跡

- ①長野県上水内郡信濃町大字穂波字丸谷地
- ②縄文、平安
- ③平成2年10月4日～11月16日
- ④信濃町教育委員会
- ⑤中村由克
- ⑥町道落合公園線
- ⑦900m<sup>2</sup>
- ⑧堅穴住居跡2（平安）
- ⑨縄文土器（早期）、土師器、綠釉陶器、木製品（平安）

⑩押型文土器（山形文）、表裏縄文土器が多く、縄文早  
期はじめ頃の一括資料として重要。平安時代の焼失住  
居址を検出。  
⑪丸谷地遺跡は、平成元年1次（町道）、2年（本調  
査）、3年3次（民間資材置場）、10年4次（民間工場  
用地試掘）と開発事業が相次ぎ、緊急調査が実施され  
た。第4次の調査報告の中に、遺跡の分布についてま  
とめている。

## 6 大道下遺跡

- ①長野県上水内郡信濃町大字穂波字大道下
- ②縄文、平安
- ③平成3年4月26日～5月21日
- ④信濃町教育委員会
- ⑤中村由克
- ⑥残土処理、農地整地
- ⑦760m<sup>2</sup>
- ⑧集石（縄文）、堅穴住居址1（平安）

⑨石核（旧石器）、縄文土器（縄文早期）、土師器など  
（平安）  
⑩⑪縄文時代早期の押型文土器が多数出土。平成元年第  
1次（町道）、2年第2次（資材置場建設）、3年第3  
次（本調査）、8年第4次（埋め立て事業の試掘）と  
開発事業が相次ぎ、緊急調査が実施された。第4次の  
調査報告の中に、遺跡の分布についてまとめている。

## 7 毛無遺跡

- ①長野県上水内郡信濃町大字柏原字毛無
- ②旧石器、縄文
- ③平成5年7月27日～9月10日
- ④信濃町教育委員会
- ⑤中村由克
- ⑥町道柏原幹線1号線
- ⑦1000m<sup>2</sup>
- ⑧なし
- ⑨剥片（旧石器）、縄文土器
- ⑩国府（瀬戸内）系石器群の横長剥片が出土した。

①上ノ原遺跡と西岡A・B遺跡の間に位置し、山林となっていた場所であり、遺跡の広がりはわかつていなかつ

た。調査の結果は、剝片や土器片がわずかに出土したのみで、遺跡の中心からは外れた位置にあると推定される。

## 8 神山C遺跡

- |                          |  |
|--------------------------|--|
| ①長野県上水内郡信濃町大字野尻字神山455-19 | ⑦1,242m <sup>2</sup>                             |
| ②旧石器、縄文                  | ⑧なし  |
| ③平成5年12月8日～12月9日         | ⑨剝片（旧石器）、礫、炭化物                                   |
| ④信濃町教育委員会                | ⑩住宅予定地内の遺跡確認のため試掘調査をおこなつた。旧石器時代の剝片などが出土したことから、遺跡 |
| ⑤中村由克                    | の存在が確認された。                                       |
| ⑥個人住宅建設予定地内の遺跡確認         |  |

## 9 高山遺跡

- |                      |                           |
|----------------------|---------------------------|
| ①長野県上水内郡信濃町大字大井字高山   | ⑧落とし穴（縄文）、炭窯（近世～近代）       |
| ②縄文、近世               | ⑨縄文土器                     |
| ③平成6年10月6日～平成7年6月23日 | ⑩⑪試掘調査をおこなつたが、落とし穴と縄文土器など |
| ④信濃町教育委員会            | がわずかに確認されただけであり、遺跡の中心部は外  |
| ⑤中村由克                | れていたと推定される。調査経過については、市道遺  |
| ⑥ゴルフ場建設              | 跡報告書に記載されている。             |
| ⑦510m <sup>2</sup>   |                           |

## 10 長山遺跡

- |                            |                           |
|----------------------------|---------------------------|
| ①長野県上水内郡信濃町大字大井字長山         | 磁器（近世）                    |
| ②旧石器、縄文                    | ⑩旧石器時代の石器や縄文土器が散漫に出土したが、数 |
| ③平成7年8月10日～9月6日            | は多くなく、遺跡の性格等は不明である。       |
| ④信濃町教育委員会                  | ⑪ゴルフ場開発に伴う発掘調査では、信濃町、牛込村で |
| ⑤中村由克                      | 協力して調査をおこなつた。地理的および工程的な点  |
| ⑥ゴルフ場建設                    | から、実際にはこの長山遺跡は牛込村が調査の中心と  |
| ⑦500m <sup>2</sup>         | なり、信濃町側では清水久保遺跡の岡町村にまたがる  |
| ⑧土坑1、小穴、溝                  | 全範囲の調査を実施した。              |
| ⑨スクレイパー、剝片（旧石器）、縄文土器（縄文）、陶 |                           |

## 11 上ノ原遺跡（第3次）

- |                    |         |
|--------------------|---------|
| ①長野県上水内郡信濃町大字柏原字岡実 | ②旧石器、縄文 |
|--------------------|---------|

- ③平成6年12月13日～7年6月9日
- ④信濃町教育委員会
- ⑤中村由克
- ⑥消防署分署建設
- ⑦1,800m<sup>2</sup>
- ⑧集石1（縄文）
- ⑨剥片（旧石器）

⑩縄文時代と思われる集石1基が出土したほかは、出土品は38点でほとんどえられなかった。

⑪隣接する上ノ原遺跡第1次調査時の石圓い炉の国家座標測量等をあわせておこなった。上ノ原遺跡第1次、第2次と隣接するが、この場所には旧石器時代の遺構・遺物の広がりは認められないことが判明した。

## 12 西岡A遺跡

- ①長野県上水内郡信濃町大字柏原字西岡1260-1ほか
- ②旧石器、縄文
- ③平成10年4月10日～4月20日
- ④信濃町教育委員会
- ⑤中村由克
- ⑥道の駅建設
- ⑦800m<sup>2</sup>
- ⑧なし
- ⑨剥片（旧石器）
- ⑩剥片が10数点出土したが、遺跡の中心からは外れていたと判断される。
- ⑪剥片1点は、上部野尻ローム層Ⅰと思われる層準に出土。黒色帯等の石器群との関係は、本遺跡では確認できず、遺跡の時代、性格等、不明。

## 13 針ノ木遺跡

- ①長野県上水内郡信濃町大字富嶺字針ノ木4073-3ほか
- ②旧石器、縄文、平安
- ③平成10年9月3日～11月10日、12月14日
- ④信濃町教育委員会
- ⑤中村由克
- ⑥町道柏原水穴線
- ⑦1,800m<sup>2</sup>
- ⑧井戸跡（近世～近代）
- ⑨有茎尖頭器（縄文草創期）、平安時代土器
- ⑩有茎尖頭器は単独出土。平安時代の黒色土器等が多数出土。
- ⑪平安時代の遺物がきわめて多く散布していたが、その時代の遺構は未確認であり、遺跡の性格は不明。土器は小さな破片が大部分である。

## 14 野尻一里塚

- ①長野県上水内郡信濃町大字野尻字上ノ原524
- ②近世
- ③平成10年12月10日～12月17日
- ④信濃町教育委員会
- ⑤中村由克
- ⑥国道18号線バイパス建設
- ⑦200m<sup>2</sup>
- ⑧一里塚
- ⑨なし
- ⑩一里塚の南側の一部を掘削し、一里塚製作時の土の重ね方を調査。道路の一部も調査。
- ⑪バイパスが一里塚に一部かかることになり、その部分の記録保存を行った。地質記載を資料として付す。



国土地理院 5万分の1地形図「信濃柏原」「赤倉」を使用

図1 発掘調査位置図

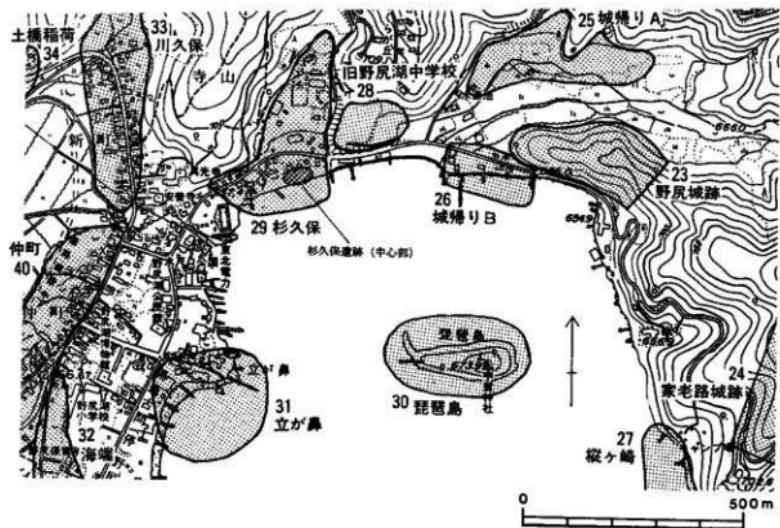


図2 杉久保遺跡の位置

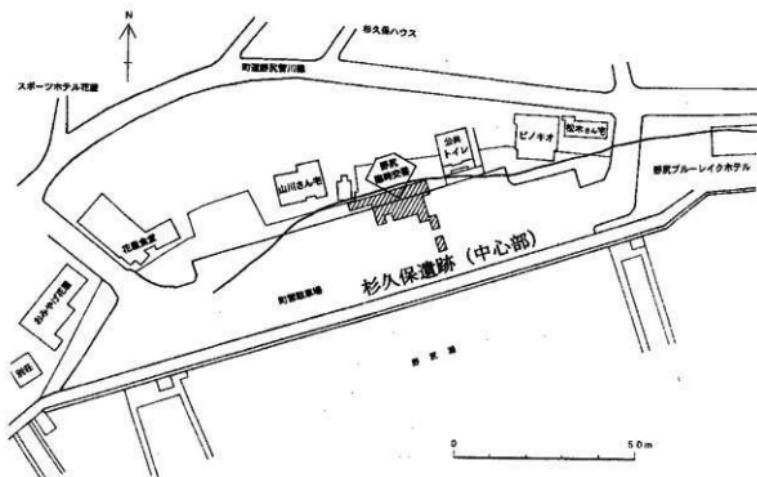


図3 杉久保遺跡の発掘位置と旧湖岸線  
斜線部は1966年駐車場発掘位置、1990年調査位置は東側の公共トイレ

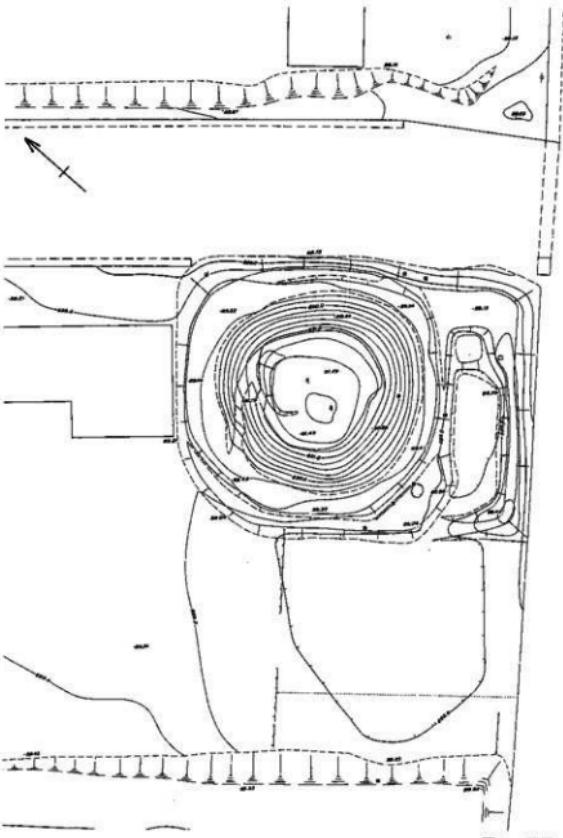
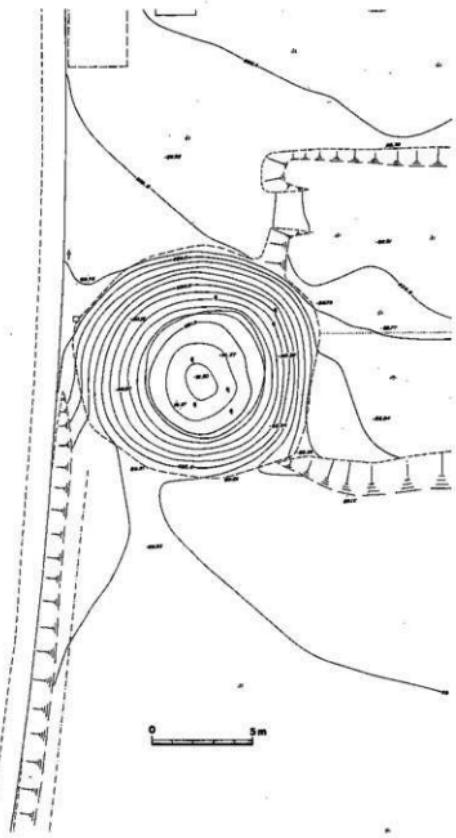
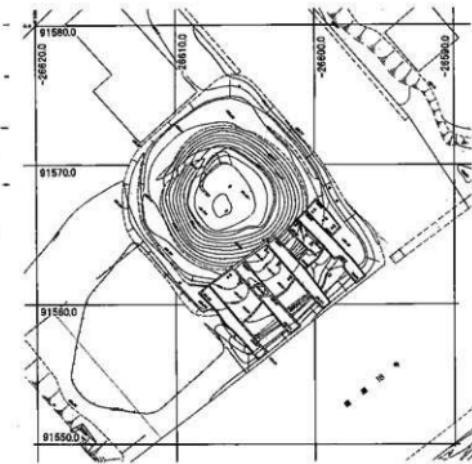
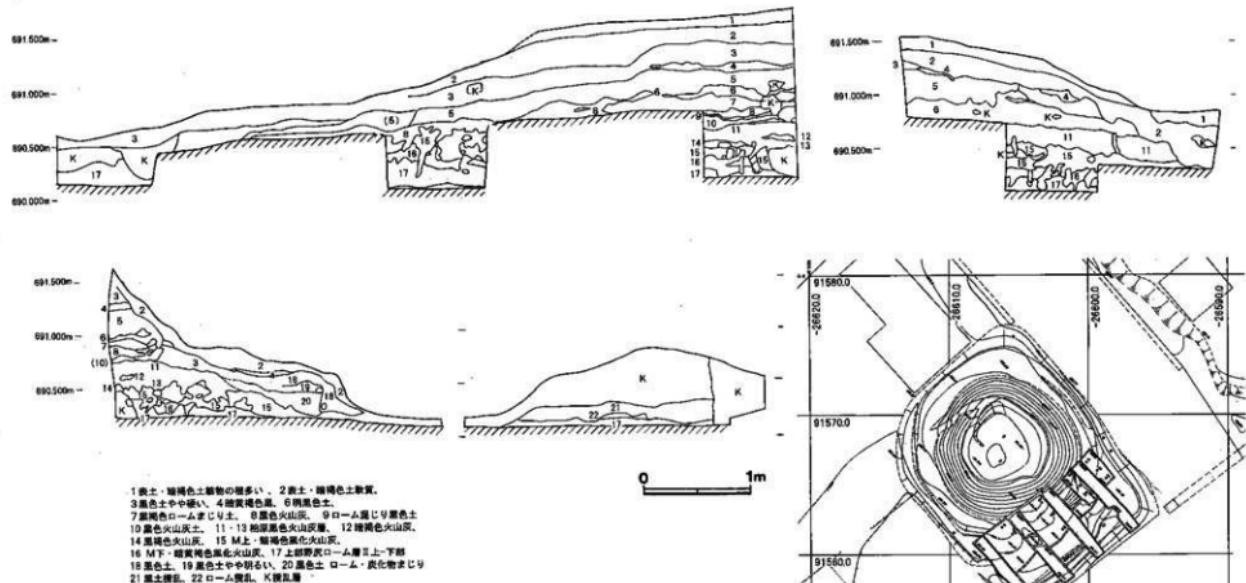


図4 野尻一里塚測量図（調査前）





## 写真図版1 杉久保遺跡



杉久保遺跡 発掘地全景 左端の旧トイレ前の駐車場が杉久保遺跡の中心部



水田の下には水成層があり、遺物はあまり出土しなかった



発掘グリッド全景



発掘風景 砂疊層、粘土層の発掘はなかなか大変な作業



試掘トレンチ 湖畔近くなので水が多くてた



出土品の記録 石器より自然の礫が多く出土



黒曜石製の石刃 杉久保石器群の数少ない出土品



旧石器時代の斧形石器（右）、剥片（中）



黒曜石製調片 砂礫と一緒に流れてきたもので、角や表面が円滑している



砂礫層中の縄文草創期の有茎尖頭器（右）と縄文早期の沈線文土器（左）



砂礫層中の中世の珠陶焼



水田耕土（客土）の下の砂礫層が遺物包含層  
旧石器～中世の間の遺物が混在している



杉久保遺跡公衆トイレ地点の地層

35cm 黒色土層（耕作土）

4～10cm 細繹まじり暗灰褐色中粒砂層～黒褐色砂礫層

14cm 暗灰褐色中粒砂層

5cm 暗灰褐色中粒砂層 細繹まじり

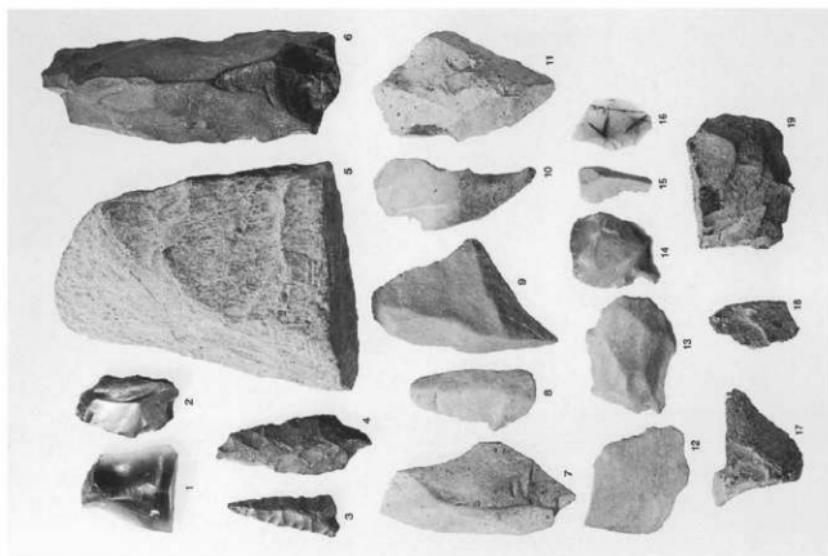
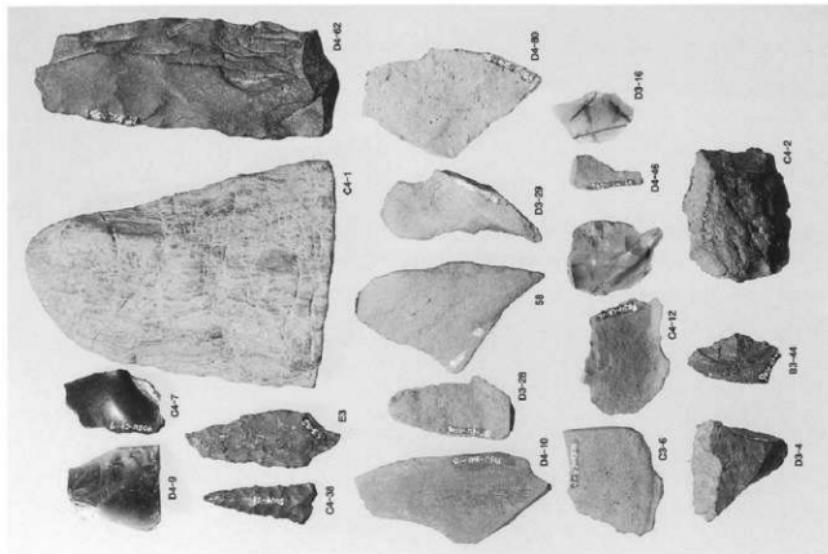
35cm 明灰褐色粘土層 上部は黄褐色に変色  
(A1群包含層に対比)

7～0 cm 黒褐色泥炭質シルト層  
(マツカケ層Iに対比)

約70cm 黒褐色泥炭質シルト層  
スコリア・岩片まじり

上のスケールは1m

### 写真図版3 杉久保遺跡



公衆トイレ緊急整備(1990) 石刃(1), 影器(2), 有茎尖頭器(3・4), 石斧(5・6), 剥片など(7-19)



大道下遺跡 工事で黒土をはいだところを確認調査し、遺物が  
あった部分を発掘、記録した



ローム上面に出土した埋



旧石器時代の石核



平安時代住居址の記録風景 カマド部分



平安時代住居址 カマド鍋の一部のみが残存



平安時代住居址のカマド付近



一里塚遺跡の発掘風景



一里塚遺跡の発掘地

## 写真図版5 一里塚遺跡



円礫の集中分布 自然のものか否か不明



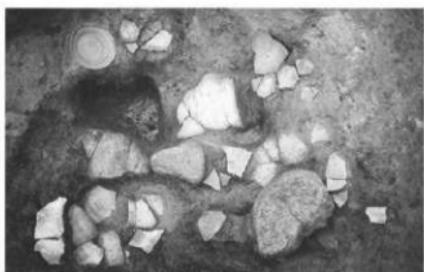
平安時代1号住居址の発掘風景



平安時代1号住居址の遺物出土状況



平安時代1号住居址の全景



平安時代1号住居址 カマド付近の遺物出土状態



平安時代1号住居址 ピット内から出土した鉄滓



平安時代 掘立柱住居址



珠淵焼 すり鉢（中世）



丸谷地遺跡 発掘風景



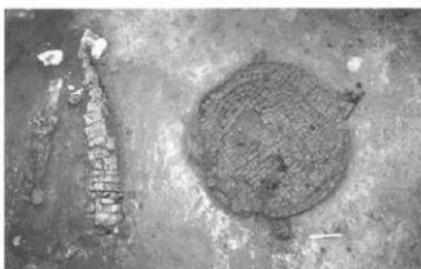
平安時代 2号住居址内の遺物記録



据立柱建物跡址



平安時代 2号住居址



2号住居址は焼失家屋で、めずらしい円形の木製品も出土した



2号住居址の発掘風景



2号住居址 カマドの遺物出土状態



丸谷地遺跡の縄文早期の遺物の記録、とりあげ

## 写真図版7 毛無遺跡・高山遺跡



毛無遺跡 全景



発掘風景



旧石器、縄文時代の剥片



旧石器時代の森



高山遺跡 試掘調査風景



縄文時代早期の押型文土器



縄文時代の落とし穴調査風景



縄文時代落とし穴

上ノ原遺跡（第3次）・西岡A遺跡 写真図版8



上ノ原遺跡（第3次）発掘地全景



上ノ原遺跡（第3次）全景 中央プレハブの左側が第1次調査の石囲いが出土地



縄文時代の集石遺構 遺物は伴わない



同



上ノ原遺跡第1次の石囲いがの保存状況の確認



同 碑の位置の国家座標による測量調査



西岡A遺跡の発掘風景



西岡A遺跡 上部野尻ローム層Ⅰ出土の瓦片がでたグリッド  
国道バイパスの隣接地

## 写真図版9 西岡A遺跡・針ノ木遺跡・野尻一里塚



西岡A遺跡 上部野尻ローム層と出土した調片



西岡A遺跡 旧石器時代の調片



針ノ木遺跡 発掘風景



針ノ木遺跡 平安時代遺物出土状況



針ノ木遺跡 平安時代遺物の出土状況



針ノ木遺跡 繩文草創期の有茎尖頭器 モヤ層準



野尻一里塚の発掘風景



同



発掘風景



国道に平行する東側の壁面



地質記載風景



同



旧道路面の地震の強度試験



現地説明会 1998年12月21日



東側壁面中央部の地層 土が平らに何回もつみかさねられている状態が観察される



中央部からの東西壁面（南側より）

## 写真図版11 野尻一里塚



2基そろった野尻一里塚 手前の国道西側の一里塚が発掘地となった



西一里塚全景 北側より



西一里塚 南側より



東一里塚 西側より



東一里塚 東側より 奥に西一里塚がみえる

信濃町の埋蔵文化財

---

杉久保遺跡・野尻一里塚ほか  
信濃町遺跡調査の概要

編集発行 信濃町教育委員会  
長野県上水内郡信濃町柏原428-2

発行日 2008年3月31日

印 刷 信毎書籍印刷株式会社

---

〔この報告書についての連絡先〕

野尻湖ナウマンゾウ博物館  
〒389-1303 長野県上水内郡信濃町野尻287-5  
TEL 026-258-2090  
FAX 026-258-3551

